

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

平成25年12月 9日 開会 13時20分 閉会 14時11分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

| | | | |
|------|------|-------|------|
| 藤原清和 | 大鳴二郎 | 西村慎次郎 | 河合謙治 |
| 荒木謙二 | 柳井一徳 | 惣台己吉 | 三宅文雄 |
| 坊野公治 | 藤原浩司 | 上野安是 | 竇戸利昭 |
| 西田久志 | 三輪順治 | 大滝文則 | 佐藤豊 |
| 井口勇 | 森下金三 | 森本典夫 | |

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 説明員

| | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 副市長 | 三宅生一 | 総務部長 | 長野隆 |
| 市民生活部長 | 北村宗則 | 健康福祉部長 | 佐藤文則 |
| 建設経済部長 | 田邊義博 | 水道部長 | 笠行眞太郎 |
| 病院事務部長 | 野崎正広 | 総務部次長 | 三宅道雄 |
| 市民生活部次長 | 大舌勲 | 健康福祉部次長 | 中原康夫 |
| 建設経済部次長 | 川田純士 | 水道部次長 | 森本謙一 |
| 美星支所長 | 金高常泰 | 企画課長 | 谷本悦久 |
| 定住促進課長 | 三宅孝一 | 財政課長 | 渡邊聡司 |
| 市民課長 | 橋本良啓 | 環境課長 | 北村容子 |
| 子育て支援課長 | 猪原慎太郎 | 介護保険課長 | 川上邦和 |
| 商工観光課長 | 武田吉弘 | 農林課長 | 谷昌彦 |
| 上水道課長 | 藤代旨弘 | 病院庶務課長 | 猪原忠教 |
| 消防団参事 | 長川行雄 | 財政課長補佐 | 久安伸明 |
| 教育長 | 片山正樹 | 教育次長 | 初崎勲 |

(3) 事務局職員

| | | | |
|------|------|-------|------|
| 事務局長 | 川上勝三 | 事務局次長 | 岡田光雄 |
|------|------|-------|------|

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（藤原清和君） それでは、本会議に引き続きまして、ご苦労さまでございます。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 改めまして、皆さんこんにちは。

一昨日は二十四節気の一つ、大寒ということで、大雪が降ってもおかしくないといった、もう本当に冬のど真ん中に差しかかっているということでもあります。きょうも、この冬空といえますか曇天ではありますが、説明のほうはかるやかに、爽やかにやっていきたいというふうにも思っております。

そうした中、議案審議に続きまして予算決算委員会を開催いただきまして、まことにありがとうございます。平成25年度の井原市一般会計補正予算（第3号）のほか、特別会計、それから企業会計の補正予算案をお願いするものであります。

今回の補正予算につきましては、職員の異動のほか、給与減額措置に伴う人件費の補正をお願いしているところであります。皆様方、ご承知のとおり、震災の復興財源捻出ということでの国家公務員の給与減額措置に準じまして地方公務員も同様の措置を講ずる要請があったものであります。本年度の地方交付税が給与減額措置後の水準で算定されたため、本市においては約1億円の減収見込みとなっているものであります。国によります地方の財政自主権を脅かす非常な行為であって、憤りが非常にある中であります。給与引き下げということをしなないということは市民サービスの低下あるいは市民にその負担を転嫁するということになってきますので、苦渋の選択という中での給与の削減を行ったものであります。

現在、本市の財政状況であります。おおむね健全な財政運営がなされているというふうにも思っております。しかし、普通交付税の合併算定替の特例期間が平成26年度までということでもあります。その後5年間で、足かけ6年ということになりますが、経過措置をもって段階的に減額され、最終的には今年度ベースで12億6,000万円程度が減額になるんではなかろうかというふうに思っております。極めて憂慮しているところであります。

一方、小規模の自治体であっても、安定した行財政サービス、運営を提供して、市民に安心してこの井原市で暮らしていただくために、第6次総合計画の後期基本計画を着実に推進していきたいというふうにも思っております。

また、市民の多様なニーズ、あるいは議員各位からのさまざまなご提言をいただきまして、その実現に向けて懸命に努めていきたい、そしてその全ての事業に取り組むことは困難

であります。そうしたこともご承知をいただきたいというふうにも思っております。真に必要な事業につきましては、これを実施し、またかつ効率的な行財政運営を推進していくためには、事業目的、費用対効果、後年度負担などを検証して優先すべき事業を厳選し、歳出の全体の洗い直し、優先順位の選択、それから予算の重点効率化が不可欠であろうというふうにも思っております。議員の皆様方には、今回補正予算の説明をさせていただきますが、ぜひともこのことをご理解いただきましてよろしくお願ひ申し上げたいというふうに思います。先ほど申し上げましたように明瞭に答えていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

〈議長あいさつ〉

〈議案第57号 平成25年度井原市一般会計補正予算（第3号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

委員長（藤原清和君） 初めに、執行部より発言の申し出がありますので、許可いたします。

総務部長（長野 隆君） 歳出の説明でございますが、本会議で申しましたとおり、人件費補正につきまして、個々の費目ごとの説明は省略させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

〈歳出第10款 議会費〉

〈なし〉

〈第15款 総務費〉

〈なし〉

〈第20款 民生費〉

委員（三輪順治君） 23ページをお願いいたします。23から25ですね。

児童福祉総務費の委託料の1,000万円の子ども・子育て新制度システムの構築の業務

に関連しまして、主な業務を、主なもので結構でございますから、発表をいただけませんでしょうか。何をどう変えるのかということだと思います。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） この業務につきましては、改修ではございませんで、新規のシステム構築でございます。保育園、それから幼稚園等の施設利用者の基本情報のデータ管理、それから保育園、幼稚園等の施設そのものに関係しますデータ情報管理、それからこれらのシステムを国、県と全国総合システムを接続しまして、国、県との情報の受け渡しを行うものでございます。

以上です。

委員（三輪順治君） そうするとシステムの構築の暁、すなわち平成27年4月1日以降、国、県、市が同じ情報を同時に持つ全国画一のシステムであると考えてよろしいのでしょうか。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） そのとおりでございます。

委員（三輪順治君） 歳入のほうは確認しましたが、全額県費がついております。これは一般財源は出ませんからいいわけでございますが、そうすつこのシステム構築に係る1,000万円という経費は、岡山県内の市町村の関係を含めまして同じシステムが動くということであれば、国とか県が主体的に開発してそのシステムを今井原市の新しいいわゆるオープンシステムのほうに移行したほうが私は安くつくと思うんですが、ご見解を賜りたいと思います。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） このシステム構築業務におきましては、県のほうから国、県からの情報に基づきまして構築をしようとしているものでございまして、現時点で国、県のほうから統一様式を示すので共同利用といったような話はございません。

委員（三輪順治君） 様式は既に示されとるのでしょうか。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 国、県のシステムと接続するインターフェース部分についての仕様は公表されております。

委員（三輪順治君） そうすると、今議会で議決後の動きを少し教えていただきたいんですが、通常、議決前後におきまして必要な諸準備に入りますが、先ほど本会議で質問したことと関連いたしますけれども、この計上された対象経費1,000万円というのは、これは仕様書ができて初めて額の見積もりができるわけでございますが、今様式もあり、そしてシステムがわかってるということであれば、この議決をもって、歳出の議決をもって私は足りるというふうに考えますけれども、ちょっとこれ、債務負担が分かるとるんでややこしい質問になるんですが、この経費をそっくり新年度の経費を先食いする形で債務負担とする行為についてご説明をお願いしたいと思います。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 本会議でご説明しましたとおりでございます。この

業務につきましては、平成25年度予算、県の平成25年度予算に手を挙げまして実施するものでございます。今回の12月の歳出で予算を要求させていただいております。この時期でございますので26年度へ繰り越すことがもう明確でございますので、歳出予算に合わせて繰越明許もお願いするところでございます。

委員（三輪順治君） 最後に確認します。そうすると、3月議会でも構わないということで理解してよろしいのでしょうか。なぜ12月議会で議決する必要があるのでしょうか。簡単をお願いします。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 2月議会という選択肢はないかということでございますが、この補助、10分の10の補助金につきましては、本年度中の契約、27年3月31日までの契約及び事業着手が要件となっております。2月補正という選択肢を選択した場合、契約締結がかなりタイトなスケジュールになりますので、この12月議会での上程をお願いしております。

以上です。

委員（三輪順治君） よく了解しました。ありがとうございました。

〈なし〉

〈第25款 衛生費〉

〈なし〉

〈第40款 商工費〉

委員（三輪順治君） 29ページのパリ展示会、大いに結構でございます。

ただ、残念なのは、持ち出しでございますので、この倉敷市と恐らく共催されるというふうに聞いておりますが、全体事業費はお幾らでございましょうか。

そして、県への働きかけといいますか、いわゆるこういった新しい試みに対する国・県の姿勢というのはどうでしょうか。2点、お伺いします。

商工観光課長（武田吉弘君） 全体事業費は499万円でございます。

この事業につきましては、倉敷市さんが主体でございますけれども、国の機関であります自治体国際化協会の補助金を得てやるものでございます。県からの補助金につきましては、さまざまな補助金がございますけれども、この補助金を利用させていただくということで井原市も推進していこうということで共同で行うことにいたしております。

以上でございます。

委員（三輪順治君） そうすると、倉敷市のほうでこのかかわる経費につきましては計上も同時計上をなささつとるわけで、井原市はそれに乗っかるという形で25万円の自主財源で合同開催と、こういうふうな理解でよろしいのでしょうか。

商工観光課長（武田吉弘君） そのとおりでございます。

委員（三輪順治君） 要望でございますが、井原市もリーダーを、リーダーシップ発揮してぜひ倉敷を巻き込んで、井原市がデニムの発祥の地ですから、そのあたりを踏まえて今後のご対応を検討して、けんとうという字は違いますよ。ご健闘をお願いします。戦うことですよ。

商工観光課長（武田吉弘君） 前向きに検討をさせていただきます。

委員（佐藤 豊君） 今回の関連なんですけど、具体的に25万円という形で倉敷市と共催するという形なんですけど、具体的には井原市のどういうところを発信させていただけるんですか、具体的に。

商工観光課長（武田吉弘君） 井原市につきましては、文字どおり高級なデニム生地というのが売りでございます。それで、パリにおきましては、この高品質のデニム生地だとか製品の展示会、あとファッションショーも含めてPRさせていただく。

それから、パリのほうでは、現地のテレビ、新聞、雑誌、ウェブの掲載、パンフレットの配布などを予定しておりまして、それによりましてPR、販路拡大を図っていきたいと思っております。

以上です。

委員（佐藤 豊君） わかりました。

〈なし〉

〈第45款 土木費〉

委員（三輪順治君） 該当すればお答え願いたいんですが、統合型GIS活用街路灯整備事業のこの具体的な事業の内容をお知らせいただけませんかでしょうか。

これ、違うんけ。済いません。

〈なし〉

〈第50款 消防費〉

〈なし〉

〈第55款 教育費〉

〈なし〉

〈第60款 災害復旧費〉

〈なし〉

〈第70款 諸支出金〉

〈なし〉

〈歳入歳出全般についての質疑〉

委員（三輪順治君） 先ほどはどうぞ失礼いたしました。

商工費の中で、統合型GIS活用街路灯整備事業74万余円と、こう説明書にありますが、この統合型GIS、この事業の中身、概要についてお知らせをください。

商工観光課長（武田吉弘君） 74万2,000円の内訳でございますけども、これにつきましては、1月から3月の3カ月間、緊急雇用で臨時職員1名を雇って行うものでございます。共済費は社会保険料、雇用保険料、賃金については58日分、需用費は消耗品、それから燃料代でございます。次のページの使用料及び賃借料は、レンタルのパソコン、カラープリンター代でございます。

委員（三輪順治君） 統合型GISというのはなかなか耳になじまないんですけども、現在県のほうで公開、ウェブで公開されております統合型GISとは違うレイヤーといいますか層があると思うんですが、この全体概要というのは、ご説明、簡単で結構ですから、この現状と、それからこれからどこまでGISを使っていくのかというのを簡単で結構ですからご説明願いたいと思います。

商工観光課長（武田吉弘君） 現在の都市照明、街路灯の位置情報についてのものございまして、現在は古い住宅地図を使用して管理いたしております。それから、現在市では、GISという地理情報システムを活用して、それぞれが管理する用途や種類、分野ごとに位置情報を入れたファイルを作成していろいろな他部署でも見れるような情報化の推進を図っております。このたびのこの事業によりまして、都市照明の位置の情報と画像を合わせたファイルを作成をいたしまして地図情報のデジタル化を図るものでございます。

以上でございます。

委員（三輪順治君） 都市街路につきましてはよくわかりましたが、私が質問をした趣旨はこの統合型GISをどこまで使っていくのか、現時点でわかる範囲で担当部局のほうからご説明をお願いしたいと思っております。

商工観光課長（武田吉弘君） この井原市統合型GISのシステムにつきましては、このシステムの地図上に都市照明の管理番号、契約番号、道路名、それから看板の種類だとか写真をつけて管理したいと思っております。

委員（三輪順治君） はい、よくわかりました。もう終わりますが、委員長にお願いしたいと思います。統合型GISというのが時々補正予算等で、あるいは当初に絡んできますけれども、名称をちらちら見ますけれども、統合型GISというのはどういうものかということ、そしてこの統合型GISを使ったら何がどう変わるのか、経費の概算までは結構ですから、そういったイメージ図をあらかじめお示しいただかんと、ばらばらに出されたら井原市の情報化の計画全体が、全体像が見えないんです。そういう意味でひとつまとめた資料をお願いしたいと思っておりますが、よろしくご配慮をお願いしたいと思います。

委員長（藤原清和君） 今の質問に対する資料そのものにもうあるんでしょうか、今。執行部のほうが出しとる資料が。どういったものか、よくわかるようなもの。

それから、先ほどの質問ではどこへ行くんかというような話がありましたけれども、そのことを含めての資料がありましたらお願いしたいと思います。

企画課長（谷本悦久君） 統合型GISの関係でありますけれども、全体像ということですが、現在どういうものが可能なのかというのは検討中でございます、市の全体像を出すにはもう少し時間をいただきたいというふうに、検討中でございます。

委員（三輪順治君） 検討の暁にはお出しいただけますでしょうか。

企画課長（谷本悦久君） そのようにさせていただきます。

委員（三輪順治君） よろしく申し上げます。

〈なし〉

〈第2条 繰越明許費〉

委員（三輪順治君） 繰越明許費につきましては先ほどの説明でおおむねわかったんですが、基本のところは、これ、財務省の見解でございますけれども、例えば繰越明許をする場合として、思うように用地が買えない、道路工事の着工がおくれた等、年度内に支出が終わらない見込みのある歳出予算に限り、議会の議決を経て1回だけ繰り越してできると、こういうふうな定義をなされております。したがって、私とすれば、今回議会に補正であげられた行為そのものは、これは必要であるから議決の対象になり得ると思っておりますけれども、それ

と同時に繰越明許をするというのは、財政上、財政法上、並びに財務省の考え方として相入れないものがあるというふうに私は認識するんですが、当局のご見解をお聞かせ願います。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 繰越明許費につきましては、予算化したものの何らかの事情でその年度内に事業を終了することができない場合についてということでございます。先ほどもご説明させていただきましたけれども、これは県の事業でございます、25年度事業でございます。これに井原市として手を挙げてこの事業を行うということ、その決定がこの時期となりました。この時期に及びまして、平成25年度ですから平成26年3月31日までに執行を完了しなければならないのが原則でございますが、今の時点で繰り越しが明らかでございますので、繰越明許をさせていただいたということでございます。

委員（三輪順治君） わかります。システムを構築する場合には数年にわたる場合もございますからよく意味はわかるんですが、同額がここに繰越明許として計上してあるというのは不思議でならないんです。例えば、議決した後に入札をし、金額が決まりますよね。それが3月末までに進捗度合いがどうしてもできない、26年度にかけてやるといった場合は、いろんな手法があると思うんですが、私よくわからんのですが、県の事業であると言いながら市の予算が当然つらなっていくんですが、もしやるのであれば、まず議決、本予算を議決して契約、業者がどういう形であれ入札して決めて、そして契約を取り交わして開発に着手し、そして3月末までの進捗に応じて2月議会、3月議会で繰越明許をなさるとというのが一般的な通常のやり方だと認識しとるんですが、それをこの機会に同じ時期に同額を上げるというのがどうも腑に落ちんのんですが、今の説明で私はわかりませんが、皆さん、議員がわかればいいんですが、私はわかりませんが、本来ですと3月の繰越明許で十分ではないかと思うんですが、もう一度だけお尋ねいたします。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 2月議会での繰り越しでいいのではないかとということでございますが、この12月議会で議決をいただきました後、契約事務といいますか入札へ移行してまいります。その時点で、この時点で繰越明許を議決いただかないと、納期のほうが平成26年3月31日までということになりますので、その納期では到底業者のほう、できないと思います。そういったことも総合的に考えまして今回の歳出予算とあわせて同時に繰越明許費をお願いしたということでございます。

以上です。

委員（三輪順治君） そうであれば、債務負担行為という手段というのはないんでしょうか。

子育て支援課長（猪原慎太郎君） 例えば、例えばですが、このシステム構築業務が例えば契約後、2つとか3つとかに分けて行えるような性質のものであれば、おっしゃられるように、要は今年度の予算と、それから26年度の債務負担行為ですか、そういったこともあ

るのかもわかりませんが、この業務につきましては、システム構築でございまして、これを2つにも3つにも分けるということにもなりませんので繰越明許費とさせていただきます。

〈なし〉

〈第3条 地方債補正〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第58号 平成25年度井原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第59号 平成25年度井原市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）〉

委員（三輪順治君） これは、補正予算ですべき内容ではないと思うんですが、先ほど来、本会議でご説明お願いしました3%の消費税のアップに伴う単価の決め方なんですが、これは予算ですから、そういう意味で単価の決め方ということでご質問いたしますけれども、円単位で切るときは2桁、もしくは1桁、切りがええ数字とか……。予算と議案は一体表裏ですから。

委員長の判断に任せます。

委員長（藤原清和君） 三輪委員さん、一応条例のほうのことになってきますので、各委員会のほうでお願いしたいというふうに思うんですがよろしゅうございますか、それで。

委員（三輪順治君） 委員長の判断に従います。

委員長（藤原清和君） ほな、ひとつよろしゅうご理解いただきたいと思います。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第60号 平成25年度井原市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第61号 平成25年度井原市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第62号 平成25年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計補正予算（第2号）〉

委員（大滝文則君） 電気料が足りないということで補正予算ですけども、今後このままで行きますと基金の減少が顕著に見られると思うんですけども、今の調子でいくと、この今の基金はどの程度もつといいましょうか、そういう状況にあるか、把握されていますでしょうか。

美星支所長（金高常泰君） 基金の状況でございますが、現在、中山間総合整備事業に取り組んでおりまして、その負担金等の支出がございます。このままの状態で行きますと、28年度程度まではいけるかなあという状況でございます。

委員（佐藤 豊君） 今回補正をされたわけですが、繰り入れで。通常の電気料というのは、年間どの程度になつとるんでしょうか。

美星支所長（金高常泰君） 24年度で申しますと、年間で1,600万円、約1,600万円でございます。23年度で行きますと1,380万円程度でございます。

委員（佐藤 豊君） ほいで、済いません、ちょっと、それでことしは幾らかかった、合計で。

美星支所長（金高常泰君） ことしは、11月末の現在で1,379万円でございます。

委員（佐藤 豊君） あと何カ月か残っているから今の現状では足りないからということで理解しとけばよろしいわけですね、単純に。

美星支所長（金高常泰君） そのとおりでございます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第63号平成25年度井原市水道事業会計補正予算（第1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第64号平成25年度井原市病院事業会計補正予算（第1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原清和君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（藤原清和君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いします。

副市長（三宅生一君） 予算決算委員会では、私のほう出させていただきました全ての議案について適切にご決定を賜りましたことを厚くお礼を申し上げたいと思います。かかる予算の執行につきましては、皆様方のいろいろなご提言を踏まえ適切に執行していきたいと思っております。ありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（藤原清和君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。

皆さん方、大変ご苦労さまでございました。